

演劇ワークショップ「みまた座」14期生・本公演

スイートピー



咲こうとしている桜。
町の一角に小さく建つ
駄菓子屋「やまだ」。

けれど、いまは、
ロープが張られ、
「立入禁止」の表示がある。
そのロープをくぐって
中に入ろうとする女がいた。
そして、なんでもない
一日の思い出がよみがえる…。



絵：瀬口亜寿香、山下香音（三股中学校3年）

2018年3月25日(日) 午前11時00分開演
午後 3時00分開演

2回公演
開場は開演の30分前

演劇ワークショップ「みまた座」14期生 12名

出 演

池田帆乃華、池田陸人、池畠百華、磯口楓、岡井明日華、下沖叶佳、田代小夏、中前月那、野元結、蓑田彩花、山下香音、田中花奈
劇団こふく劇場の俳優陣

- ◆ 作／天音（みまた座8～12期在籍）
- ◆ 演 出／永山 智行（みまた座演劇監督・劇団こふく劇場）
- ◆ 料 金／小学生以上…300円・未就学児…無料

※上演回指定 ※全席自由 ※電話予約可
※WEB予約可（三股町立文化会館WEBサイト）
※前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります

- ◆ 会 場／三股町立文化会館
(〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字樟山3404-2)
- ◆ 主 催／三股町、三股町教育委員会
- ◆ お問い合わせ・チケット取扱／
三股町立文化会館 Tel0986-51-3462
<https://bunka.town.mimata.lg.jp>



演劇ワークショップ
「みまた座」
14期生・本公演

スイートビー

はじまりを知らない

おかげさまでみまた座は今年14年目を迎えました。ということはつまり、今年参加してくれたほとんどのみんなが生まれたときには、もうみまた座がここにあったということです。

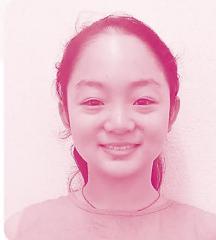
6月に開講し、夏に試演会を行い、秋には門川に行ったり、会館での演劇公演のお手伝いをしたり、そして3月に作品の上演を行う。そのことを、14年間、1年も休むことなく、こつこつと繰り返してきました。

毎年、自然の恵みをわたしたちにもたらしてくれる田畠も、誰かがその土地を開墾し、水を引き、苗を植えた「はじまり」の日があるように、このみまた座にも「はじまり」があり、そして、たくさん的人がここを大事に思い、14年間、丁寧に守ってきてくださいました。はじまりは知らなくても、今年の子どもたちも、関わってきてくださったたくさんの方とその思いに手を合わせながら、作品の収穫に向けて、いま、ここで時間を使っています。

さあ、14回目の収穫のときです。その日、ぜひ劇場でお会いしましょう。心よりお待ちしています。

みまた座演劇監督 永山 智行（劇団こふく劇場）

演劇ワークショップ「みまた座」14期生



池田 帆乃華



池田 陸人



池畠 百華



磯口 楓



岡井 明日香



下沖 叶佳



田代 小夏



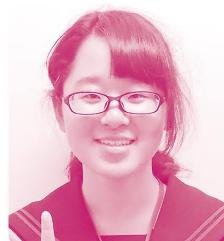
中前 月那



野元 結



蓑田 彩花



山下 香音



田中 花奈

演劇ワークショップ「みまた座」とは

三股町立文化会館が毎年6月から3月にかけて開く小中高生対象の演劇ワークショップ。平成16年に旗揚げし今年14年目。延229人（実97人）が在籍。演劇監督に永山智行（劇作家、演出家、劇団こふく劇場）を迎え、指導は三股町立文化会館フランチャイズカンパニーである劇団こふく劇場の劇団員が担う。

毎年3月に上演する本公演の作品は、前年度戯曲講座受講生の中から町民の一人が書き下ろすなど、その存在は連結を誇る創造系事業の中核を成す。丁寧に時間をかけ構築した一連の事業群は『文化芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに特に功績があった』と高く評価され、県内の公立文化施設としては初めてとなる「平成24年度地域創造大賞（総務大臣賞）」の受賞に至った。みまた座は三股町立文化会館の基本理念「思い 育み 知の創造」の姿そのものであり、大切な宝である。

三股町立文化会館

- ◆会場／三股町立文化会館
〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字樺山3404-2
- ◆会場／三股町・三股町教育委員会
- ◆お問い合わせ・チケット取扱／三股町立文化会館



0986-51-3462

※電話予約可 休館日(月曜日)を除く午前9時～午後5時
※WEB予約可 <https://bunka.town.mimata.lg.jp>

